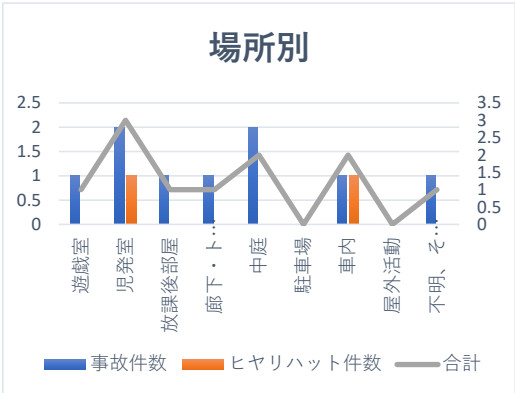
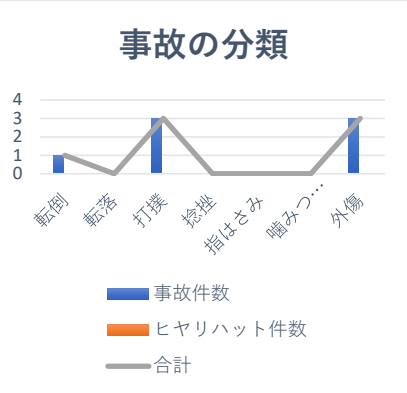
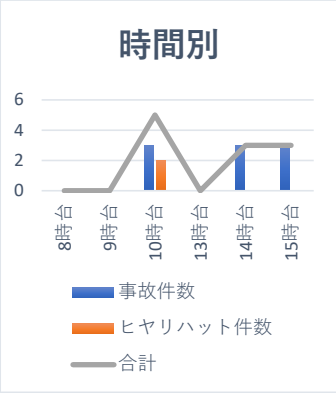


事故・ヒヤリハット報告（ 児童発達 ） 令和4年 7 月（ 8 / 6 付） 例

総計		曜日別							時間							場所別											事故の分類（何があった）															
		月	火	水	木	金	土		8時台	9時台	10時台	13時台	14時台	15時台		事故件数	遊戯室	児童室	放課後部屋	廊下・トイレ	中庭	駐車場	車内	屋外活動	不明、その他		事故件数	転倒	転落	打撲	捻挫	指はさみ	噛みつき・ひっか	外傷	アレルギー	感染症	車両トラブル	他害行為	脱走・飛び出し	その他		
9	事故件数	1	2		3	1	2	事故件数			3		3	3	事故件数	1	2	1	1	2		1		1	事故件数	1		3				3				1		1				
2	ヒヤリハット件数	1			1			ヒヤリハット件数			2				ヒヤリハット件数		1				1			ヒヤリハット件数													2					
11	合計	2	2	0	4	1	2	合計	0	0	5	0	3	3	合計	1	3	1	1	2	0	2	0	1	合計	1	0	3	0	0	0	3	0	0	0	1	0	3				

月グラフ報告（児童発達）



月事故・ヒヤリハット傾向について

- ・LINEオフィシャルにて面談案内を配信したとき、他児童の名前が入った文面を送ってしまう。
→確認作業ができていなかった。必ず配信前にWチェックを行う
- ・お着換え時、パーテーションを使用していたらパーテーションが倒れ児童にはあたらなかったが危なかった。
→パーテーション使用時、職員が一人つくようにする。すぐに使用しない場合は倒しておく。
- ・乗車時、換気の為に窓のロックを解除。その後ロックするのを忘れる。児童が窓が収納されるところに腕を置いて窓の操作したため挟まれ12cm程、傷がでる。
→換気の為に開けるのは前座席のみとする。
- ・お着換え時、児童が一人で事務所に行きドアでおでこをぶつける。
→児童が一人で行動していることに職員が気付いていなかった。職員同士、声を掛け合うようにする。
- ・児童のシートベルト着用忘れ
→発車前に職員同士で声掛け確認を行っていく
- ・他児童へパンチしてしまう
→児童の行動を予測して対応するようにする